

タイトル～<早期認定で起こる、変な事>…「新台3年目の逆転現象」

■いよいよ始まる、業界初の「大型早期認定」状況。

いわゆる「前倒し認定」と言われる認知が、今回の規模では『業界初！』で行われようとしています。そんな中、新機種リリースのメーカーからは、『諦める他に無い』と言うか、『なんか納得できない』と言うか、『まあしょうがない』と言うか…そんな現象が多々現れる事があります。それが、【3年目の逆転現象】になります。

■「3年目の逆転現象」とは(特にスロット問題で)…！？。

ぶっちゃけ、「ホールサイドにはあまり関係ない」話になりますので、ご安心下さいませ。あくまでも「メーカーサイドの気持ち」の話になります。よって、ホールにとっては『若干、どうでもいい話』とも言えますね(笑)それは言っても、「使用期間のリミット日」の話ですから、関係無くもないですかねえ(汗)例えばココに、現在【9月に検定所得した新機種】があるとします。⇒例:「5. 9号機」～**ニューパルサーSPⅡ**そして【来年に検定満了する早期認定機種】があるとします。⇒例:「5号機」～**マイジャグラーⅢ(5月検定切れ)**この2機種で「その機種の使用可能期間(3年間)」を比較してみると、以下の様になります。

<5. 9号機> **ニューパルサーSPⅡ** 2017年9月15日～2020年9月14日 以後撤去

<5号機> **マイジャグラーⅢ** 稼働中 認定済:2018年2月1日～2021年1月31日

結果的に、**新しい基準の「5. 9号機」**よりも、**古い基準の「5. 5号機」**の方が『長く設置運用ができる』と言う結果に。仮に今「山佐:ニューパル」を例にしましたが、無論、「ジャグラーシリーズの5. 9号機でも同様」になる訳で、今年の年末頃にリリースされる「5. 9号機」では、全て同じような現象が発生します。

⇒※来年2月以降の検定取得の5. 9号機は、この例をは異なりますので、ご承知おき下さい。

まあこの例では、特に「新基準に該当しない機種」であり、無論「高射幸性機」でも無いので、上記「例」においては、『ふ～ん…』で終わりますが、**認定機が「5. 5号機のART機だったりする」**事もあります。

例えば、「**大都:番長3**」の早期認定をした場合でも、**9月リリースの新機種を「超早期認定」**した場合でも同様になります。例えば、「**5. 9号機:戦国コレクション3**」(9月検定!?)よりも、「**5. 5号機:番長3**」の方が、『**5か月間も長く設置できる**』結果となります。

■パチンコでの「3年目の逆転現象」は…！？。

パチンコの場合は、同様なケースもあり得ます。

例えば、今年12月リリースされる「**三洋:大海物語4**」(2017年10月検定取得!?)よりも、早期認定取得した「**サミー:真・北斗無双**」(2018年2月～認定3年間)の方が、**設置リミット日は4～5ヵ月間程長くなります**ね(汗)まさか、『「大海物語4」を早期認定する(12月申請する)』なんて事は、まずありえないですし…ましてや、「**沖海4**(2016年9月1日前後の検定～約1年使用)」が対象だったりすれば、その差は歴然となります。

<このコラムは、フリーコンテンツに該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください>
<また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします>